

2023年度 御殿場プレミアム・アウトレット保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月18日（木）～1月25日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月22日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、日々体をたくさん動かすことを心掛け散歩・リズム遊びを多く取り入れた。また、生きるものに触れることも重要と考え、身近な生き物や植物の成長を見つめるようにもした。
子どもの発達援助	年齢・月齢によって成長に差がある0歳から2歳児なので、その子にあった対応をと考えていたが時に無理をさせることになってしまっていたのではとの反省がある。また、0歳は特に職員の連携が大切な時期なので、より密な申し送りをするように心がけた。
保護者に対する支援	朝の受け入れ、帰りの引き渡し時の保護者への一言を職員一人一人がとても大切にしっかりと対応していた。保護者も何かあると聞いてきたりしてくれるため、職員間で共有し、丁寧な対応を心掛けた。
保育を支える組織的基盤	職員間での話し合いを大切に毎日話す時間を設けてきた。わからないことや疑問に思うことはすぐ声にすることが大切と考えている。世間で持ち上がった保育の問題をすぐに取り上げ話し合うようにも心掛けた。

総評
この一年虐待や不適切保育の話題が常に上がったことで、職員間で話し合うことも多かった。その為より「子どもを尊重する保育」について意識付けができたようにも感じた。今年度、職員からは今年前半の生まれと後半の生まれの子の成長の違いが顕著だったことで年齢・月齢差による対応の難しさが上がっていた。保育士が気持ちに余裕をもって、一人一人の子供に対応し個を大切に保育を充実させていきたい。来年度は年齢別の活動を充実させたり行事の内容を工夫し、その年ならではの活動を考えて計画をしていきたい。